

< 超音波計測 >

概要

判定分解能向上のためのセンサ信号の広帯域化（周波数帯域の広帯域化が必要（500MHz以上））と、対象の大型化に伴う、スキャン速度の高速化、スキャンエリア拡大により、多量データ解析能力の必然性がアップしてきており、高速・高分解能デジタイザの要求がでてきています。

主な仕様・特長

超音波センサからの信号を確実に捕捉する
高速デジタイジング性能

最大5GS/s 高速デジタイジング、帯域2.5GHz

高データスループット性能

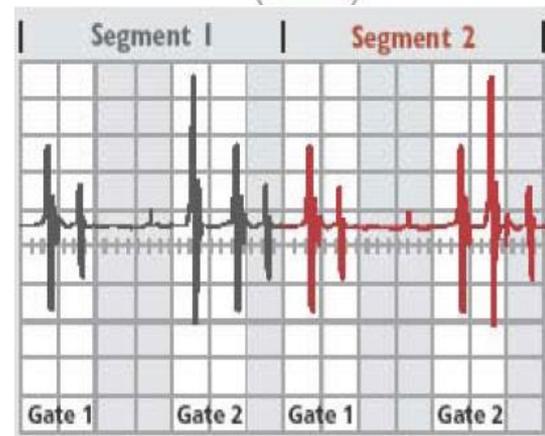
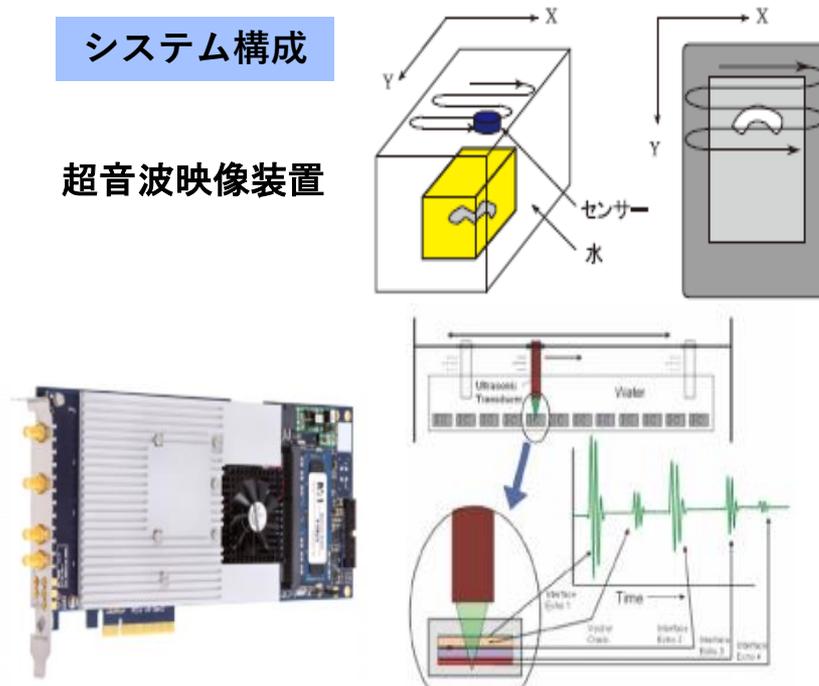
最大3.5GB/s データ転送スピード

オンボードFPGAによるノイズ除去に必要な リアルタイムアベレージング機能

演算転送時間を削減する ゲート指定によるデータ収集機能

システム構成

超音波映像装置



ゲート機能によるデータ収集